



ボーイスカウト枚方第2団

2013年8月号

< VOL 310 >

発行責任者 井上 清文

かがり火

◆ 平成 24 年度 活動の仕上げの時 ◆

副団委員長 井 上 治

6月から、本格的な真夏を思わせる暑い日が続いていますが、スカウトならびに保護者、御家族の皆さん元気に過しておられるでしょうか。健康には十分気をつけて下さい。

さて、ボーイスカウト活動は、活動の場を野外に求めている関係で、この夏は、その年の仕上げの時期になっています。そして、9月が学校で言う始業式のセシモニーが行なわれ、新年度が始まります。

7月20日(土)～22日(月)に、ビーバー隊・カブ隊が三重県にある「大阪市立伊賀青少年野外活動センター」で合同のキャンプ(舎営)を行い、無事終了しました。この3日間付き添いで参加しましたので、その時の様子を報告します。

参加者は、指導者・団委員12名、ビーバー隊員7名、カブ隊員12名、保護者7名、付き添い2名の合計40名でした。

一日目は、午前8時に枚方を貸し切りバスで出発し、11時には目的地に着き、開所式を行ないました。現地は山の中腹で高度600m位に位置し、木立に囲まれ涼しい風が吹き抜けています。その木立の下で、バク弁の昼食を食べ、その後部屋割りがあり、午後のプログラムに入りました。

ビーバー隊は、戸外でのゲーム。カブ隊は忍者ハイキング。午後3時30分には団委員の作ったポップコーンやジュースでおいしいおやつを頂きました。その後部屋の整頓や休憩。午後6時にはおいしい夕食を頂きました。

夜は、高橋団委員のこわ～い話を聞いた後、ビーバー隊は全員で、カブ隊は2人1組で約1kmを歩く「きもだめし」です。途中泣き出す子もいましたが、ゴールではみんな元気な笑顔になっていました。

二日目午前中、ビーバー隊は見晴台までのハイキング。カブ隊は「ブーブー笛作り」です。木切れを2つ合わせ、真ん中に隙間を作り、強く吹くと「ブーブー」と音を鳴らします。まわりに絵などで飾りをして出来上がりです。

午後は、ビーバー隊は「たぬき寝入り」の後、小川での水遊び。カブ隊は、2時間30分をかけての忍者修行ゲーム。3時30分には、きゅうりの浅漬け、冷水に冷やしたトマト・スイカの野菜いっぱいのおやつです。その後「水遊び」「日曜礼拝」とスケジュールいっぱいです。

夜は皆一緒になっての「キャンプファイヤー」です。焚き火を囲んで色々な出し物やゲームに盛り上がり、特に年齢の低い子には強く印象に残ったようです。

三日目は朝礼、朝食、開所式を終えた後、バスで「甲賀の里忍者村」に行き、そこで忍者屋敷を見学後、忍者修行の色々なゲームに挑戦しました。その後バスに乗り5時過ぎには枚方に帰ってきました。着いたとたん、又暑さとの戦いにもどりました。

三日間のキャンプ(舎営)は、大きな怪我や病人も無く無事終わることが出来ました。これは多くの保護者の方々の御協力のお陰です。自主的に良く動いて頂き感謝しています。我々指導者・団委員は、枚方に着き、バスを降りてきたビーバースカウトの「すごく楽しかった～」との大声に疲れも吹っ飛びました。

尚、ボーイスカウト隊は、7月31日～8月8日まで山口県きさらぎで行なわれる「第16回日本ジャンボリー」に4名が参加します。

このように、7、8月はボーイスカウト活動にとっては、その年の仕上げの大切な時期なのです。

団からのお知らせ

【 浄行寺「新町寄席」 】

恒例の浄行寺「新町寄席」が8月31日(土)に笑福亭松喬師匠一門により開催されます。御承知のとおり松喬師匠が先月お浄土へ旅立たれましたが、一番弟子の三喬さんが高座を勤められます。ご家族お揃いで、夏の暑さを忘れるひと時をお過ごしください。

日 時: 8月31(土) 14:00～

場 所: 浄行寺 (新町 枚方市駅より徒歩約5分)

笑福亭松喬 師匠一門

木戸銭: 1,000 円(全て国際機関に寄付されます。)

【 第16回日本ジャンボリー 】

第16回日本ジャンボリーが7月31日(水)～8月8日(木)に山口市きらら浜で開催されています。(大阪派遣隊は7月30日出発、8月8日帰阪)

4年に一度開催される日本ジャンボリーは、全国からのスカウトだけでなく、世界各国からも参加し、約1万6千人が集う国際的なキャンプ大会です。

2015年夏「きらら浜」では第23回世界ジャンボリーが、世界161の国と地域から約3万名が参加し、開催されます。

そのため、今回の日本ジャンボリーは、第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーとしても開催され、両大会の名称が併記されています。

“たくさんの発見、たくさん笑顔、たくさんの感動……。”

団からは4名のスカウトが参加しますが、健康に留意し、体験を通して、色々な事を吸収し、多いに楽しんできてくれることでしょう。



団委員及び指導者への連絡

【 合同会議 】

日 時: 8月24日(土) 17:00～

場 所: サンプラザ 5F 第2集会室

開催場所の関係で今月は合同会議に変更されています。
お間違えの無いよう、ご注意ください。

新 知 故 温 続

大阪スカウトクラブ発行「スカウティングの原点を探るシリーズ」より転載

<耳そばだてて 聴き正せ>

「スカウティング」誌巻頭言集

中 村 知

何もしない「参加」は
ありえない

世間には、役員の1人として名前をつらねるだけで、1度も、役員会に出席せず、何もしないで任期を終る人が相当ある。そして、「重任をさまたげない」という会則によって、欠席のまま、またもや役員になる例が多い。

われわれスカウト仲間は、そのような悪習慣を破りたいものである。スカウティングにおいてはいつも全員参加であるのが「班制教育」の建前である。この場合の「参加」とは、なんらかの分担をもつ、と、いうことである。分担と責任をもたない参加というものはあり得ない。英語で、PARTICIPATION（参加）という言葉は、分担（PART）をもつ、と、いうことである。

みんなが、それぞれの分担をもち、みんなの総力で、協力することが民主主義である。スカウティングは、そういう運営を、少年の頃から生活を通じて身につけさせる教育である。

もし、参加ということを、正しく解釈していない者がいるなら、とくと、反省して頂きたいものである。

人の力は 和ではない

(人の力は 足し算ではない)

$$3+3+3=9$$

人の力は 積である

(人の力は 掛け算である)

$$3 \times 3 \times 3 = 27$$

パスオンの重要性

故佐野常羽先生(最初の実修所長)は、よく、パスオン(Pass on)を怠るなど、いわれた。その意味は、先輩は、よく、後輩を育てて、バトンを渡せ、という教えである。

今や、昭和35年(1960年)は、昭和36年(1961年)に、バトンを渡した。新年を迎えて、この、パスオンを思うのである。

ラグビー、フットボールにおいて、ボールを、パスオンする場合、渡す者は、必ず受けとる者より前の方にいなければならない。受ける者は、これは必ず後方にさがってボールを受けねばならない。これがルールであって、このルールを破れば反則となる。佐野先生は、これをいつもいわれたのである。

先輩が、ボールを持ち続けてパスオンしないならば、ゲームはおもしろく展開しない。それはいつまでたっても、昭和35年がおわらないのと同じである。

指導者道(リーダーシップ)の要諦の1つである。班長は次長を育てて、パスオンし次長は3番スカウトを、よく育てて、これにパスオンすべきである。隊長、副長みな然りである。

先輩たちよ、ボールを持ちすぎないように。後輩よ、いつでも受けつげるようにそうすれば、ゲームは、もっと、もっと、面白くなるであろう。



【8月各隊活動予定】

◇ ビーバー ◇

	8月25日(日)
タイトル	お別れ会
時 間	9:00～未定
集 合	枚方市駅ケーブルテレビ後
場 所	牧野生涯学習センター

◇ カブ ◇

『テーマ: 今でしょう! 一致団結』 [主な活動: 野外料理作り]

《 目標: 仲間と協力する 》

	隊 集 会
	8月18日(日)
	デイキャンプ 交野3団野営場 詳細は別途

◇ ボーイ ◇

テーマ: 「 キャンプの鉄人 」 活動内容: 集大成としてのキャンプ

活動目的: 安全とフィッシング

集会種別	第16回日本ジャンボリー	リーダー会議	隊キャンプ
日 程	7月30日(火)～8月8日(木)	8月3日(土)	8月13日(火)～15日(水)
時 間	9:00～		別途連絡
場 所	別途連絡		マキノ高原キャンプ場
備 考	兼GB訓練	別途連絡済	

◇ ベンチャー

8月16日(金)～18日(日)
北大阪地区ベンチャー大会 愉快的なキャンプ大会《fusion/融和》
16日9時現地集合～18日16時解散予定
交野3団野営場